

## 事業計画書

事業名		人と猫が共存できる地域の環境対策としての「地域猫活動」
団 体	名称	倉敷地域ねこ活動をすすめる会
	住所	岡山県倉敷市羽島 778-6
	遂行責任者	亀山 雅子

## 1 団体の目的

岡山県倉敷市内における飼い主のいない猫で問題が起きている地域住民に対して、地域で猫の適正管理をする地域猫活動に関する事業を行い、人間と猫が共生する社会の構築に貢献することを目的とする。

## 2 事業の分野

\* 次のいずれか該当する分野に☑をしてください（複数選択可）。

☑保健、医療又は福祉の増進 ☑社会教育の推進 ☑まちづくりの推進  
 観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 学術、文化、芸術又はスポーツの振興  
 ☑環境の保全 □災害救援 ☑地域安全 ☑人権の擁護又は平和の推進 □国際協力  
 男女共同参画社会の形成の促進 ☑子どもの健全育成 □情報化社会の発展  
 科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 職業能力の開発及び雇用機会の創出  
 消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助

## 3 現状と課題

## (1) 地域の状況や市民ニーズ

近年では、住宅事情の変化に伴い、野良猫の「糞尿・臭い」に関する苦情が増加傾向にある。他にも車への引っかき傷の苦情や、畑を掘り返すことへの苦情など、増え過ぎてしまった野良猫が原因で生じる苦情は多種に及ぶ。また外で暮らす野良猫は、暑さ寒さや飢え、交通事故、虐待などの危険に常にさらされている。その結果、猫を快く思わない方々がいる一方で、猫が可哀想だと思うあまり無暗に餌だけを与える方もいる。可哀想な猫を見たら餌をやらずにいられないのは人間として当たり前だが、「エサをやる場所が汚れる。あちこちに尿や糞をして臭くなる。猫の数がだんだん増える。」など、無責任な餌やりは、逆に猫が人から嫌われる原因を作ってしまう。そして、猫に対する意見の食い違いから、「人と人とのトラブル」に発展することも少なくない。例えば、猫が他の人から嫌われることのないよう、「餌の器は早く片付ける。周りもきれいに掃除をする。不妊去勢手術を受けさせる。」など、周りの人たちからも理解が得られるように世話をする必要がある。

( 2 ) 本事業で取り組む地域課題

地域猫活動には地域住民の協力体制が欠かせない。従って猫が好きな人と苦手な人の双方が満足できる状況を維持できなければ活動を継続させる事は難しく、地域住民の合意の下での、繁殖制限、衛生管理、個体の管理（捨て猫の防止）を行う。同時に、正しい地域猫活動の在り方を啓蒙することにより、無暗に餌を与えるだけの自称地域猫活動家を無くし、住民間の摩擦を生むケースを防止する。

4 目的と概要

( 1 ) 事業の目的

人が暮らす場所で、野良猫が増え過ぎることで起こってしまう『人と人とのトラブル』を無くすこと。

( 2 ) 事業の概要

市内の、猫で問題が起きている地域住民（自治会または学区単位）を対象に、「1.地域猫とはなにか 2.野良猫の苦情対策相談 3.野良猫のトイレの作り方」を紹介する講座を開催。講座の参加者からアンケートを取り現状調査をする。（猫の数、苦情の内容、町会長・役員が問題解決に前向きか？）調査結果をもとに地域猫活動モニター地区を選定し、地域猫活動を実施。地域猫活動のプロセスは、1.承認・合意（地域の現状に合わせたルール作り）2.繁殖制限（捕獲→不妊去勢手術→耳に不妊去勢手術済みの目印となるV字カットを入れ、元の場所に放す）3.給餌、糞尿処理、個体管理（捨て猫防止）である。後日、取り組みや成功・失敗事例を共有する定例会を開催する。住民同士で情報共有する場を設けることで、異なる立場の住民が協力し、さらに人間と猫とが共生する健やかな社会を構築する気持ちを高める効果を狙う。

## 5 受益者と効果

### ( 1 ) 事業の受益者

猫で問題が起きている地域住民（自治会または学区単位）

### ( 2 ) 事業の実施に期待する効果

啓発と現状調査に重点を置くことで、地域の承認を得た、正しい意味での地域猫活動を実施。1.承認・合意（ルール作り）2.繁殖制限 3.給餌、糞尿処理、個体管理（捨て猫防止）。合意の下、協力し猫を管理することで、猫に対する意見の食い違いから起こる「人と人とのトラブル」が無くなる。猫は一代限りの命を全うし、緩やかに数が減り、結果として野良猫が居なくなる。

注：飼猫については完全室内飼育とする。

## 6 団体の能力

### ( 1 ) 団体が持つ能力

メンバーの内 2 名は 10 年以上、倉敷市周辺での犬猫の保護活動に関わっているベテランボランティア。倉敷市動物愛護管理審議会委員の経験者 1 名。現役の講師 1 名。過去に、県内各地で啓発イベントを行い、TNR 数 213 匹、譲渡数 106 匹の実績がある。その他、劣悪多頭飼育の問題や、悪質ブリーダーによる遺棄事件など、様々な犬猫に関する社会問題にも関与。

注：TNR とは...飼い主のいない猫を捕獲し、不妊去勢手術を行い、耳に V 字カットをして元の場所に放すこと。

### ( 2 ) 能力の活用

活動期間が 10 年以上と長く、過去に住民からの様々な相談を受けているため、人脈があり、リアルタイムで生の情報が手に入る結果、解決すべき課題が明確にできる。

## 7 事業内容とスケジュール

### ( 1 ) 事業の具体的な内容

<p>(1) 啓発講座・現状調査 ( 3 ~ 4 回 )</p> <p>会場 市内の公共施設</p> <p>対象 猫で問題が起きている地域住民</p> <p>1 地域猫とはなにか ( 座学 )</p> <p>2 野良猫の苦情対策相談</p> <p>3 野良猫のトイレの作り方を紹介</p> <p>4 アンケート調査 ( 猫の数や、苦情の内容、町会長・役員が問題解決に前向きか？等 )</p> <p>(2) 地域猫活動</p> <p>1 地域猫活動モニター地区を選定 ( 1 ~ 2 カ所 )</p> <p>2 地域住民の承認と合意の上で猫を管理 ( 地域住民によるルール作り→繁殖制限 . 給餌、糞尿処理、個体管理 )</p> <p>3 定例会の開催 ( 月毎 )</p>
--

### ( 2 ) 事業のスケジュール

5 月	市内の施設等に連絡及びチラシ配布
6 月	地域猫普及啓発講座や公開セミナー アンケート調査 ( 3 ~ 4 回 )
7 月	”
8 月	”
9 月	地域猫活動モニター地区を選定 ( 1 ~ 2 カ所 )
1 0 月	地域猫活動開始 ( 地域住民によるルール作り→繁殖制限 . 給餌、糞尿処理、個体管理などの実行をサポート )
1 1 月	地域猫活動定例会
1 2 月	地域猫活動定例会

8 目標

内容	現状	目標値
地域独自のルール作り 繁殖制限 衛生管理	なし 一部済 一部の住民が行う	あり 全頭済 ルールに従って協力 して行う

9 受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

徴収する（見込み：資料、会場費、お茶代として 1 回につき 200 円。

不妊去勢手術費用として 1 カ所につき 10,000 円）

徴収しない（理由： \_\_\_\_\_ ）

10 事業の見通し

将来、各自治会が自前で、地域猫活動ができるよう、ノウハウを渡していく事業を行う予定である。

11 他団体との協力

12 行政との協働 自主事業コースの団体は記入不要です。

\* 協働する市担当部署の名称、役割、協議をした日及び内容を記入してください。

## 収支予算書

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
受益者負担	不妊去勢手術費用	10,000	10,000円(1地区ごとの負担金)
会費からの繰入		77,000	
その他			
市補助金		300,000	
<b>収入合計</b>		<b>387,000</b>	<b>(支出合計と一致)</b>

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
人件費(会員) <sup>1</sup>	ボランティア保険	3,000	450円×5名
交通費(会員) <sup>1</sup>	ガソリン代	10,000	500円×20回(不妊去勢手術の搬送など)
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)	セミナー講師料	30,000	30,000円×1回(外部講師公開セミナー)
旅費交通費(講師等)		0	
消耗品費	用紙	9,000	A4:3,000円×3冊
	インク	33,000	6,500円×5個
	捕獲機(貸出用)	70,000	17,400円×4個
印刷製本費	テキスト製本費	50,000	50円×1,000部
通信運搬費	案内の郵送	12,000	120円×100通
保険料		0	
使用料・賃借料	施設使用料	20,000	5,000円×4回 (外部講師公開セミナー1回、自前講座3回)
外注費・委託費	不妊去勢手術	150,000	雌:20,000円×5匹 雄:10,000円×5匹
<b>対象経費計</b>		<b>387,000</b>	
食糧費		0	
人件費		0	
その他		0	
<b>対象外経費計</b>		<b>0</b>	
<b>支出合計</b>		<b>387,000</b>	<b>(収入合計と一致)</b>

1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。